

社会福祉法人 栄光会 ケアハウス ロイヤルの園

「祝 百寿 村井さん おめでとう」

10月1日にめでたく百歳!!のお誕生日を迎えられた村井オサコさんです。

ケアハウス ロイヤルの園が平成10年11月に開設してから、初めて百寿の方を迎えることが出来ました。

今も近くのスーパーに買物に出掛けたり、元気に散歩されたりと自立された生活を送られています。

『偉大なる人生の大先輩をお祝いしよう』と全職員で、昼食時にささやかではありますが、お祝いの会を開かせて頂きました。

当日はご家族の方もお集まり頂き、好天にも恵まれて大変にぎやかなお祝いの会となりました。

盛大な拍手の中、黄金色チャンチャン



ケアハウス ロイヤルの園

「祝 百寿 村井さん おめでとう」

施設長のお祝いの言葉に続いて、表彰状・花束・記念品の贈呈と進行し、最高潮はシャンパンでの乾杯、そしてケーキの上に置かれた100の数字ロースクを一気に吹き消す場面でした。

至る所から拍手と『おめでとう』のお



祝いの言葉に大変喜んでおられました。赤飯や天婦羅など、入居者好評メニュー

中心の昼食を美味しく頂きました。

食後はロビーでの記念撮影をしてお開きとなりました。

これからも皆さんがお元気で、いつまでも笑顔の絶えない暮らしをして頂ける様に職員一同、日々のお手伝いを一生懸命させて頂きたいと思っています。

介護職員 夏目 久美子・松崎 昌美



医療法人 昭仁会 介護老人保健施設 四季の里

「運動会」

10月の行事は、13日土曜に「四季の里大運動会」が行われました。

各フロア対抗で、玉入れ・風船送り・職員によるベンギンリレーを行いました。

玉入れは、毎年恒例で16名の円ですわり、30秒間約90個の玉をかごに入れる競技です。真ん中に職員が配置され、こぼれだまを必死に玉拾いして、時間でフタを閉めます。限られた時間の中で、皆さんたくさん玉を入れました。

風船送りは今年初めての試みで、横に対面交互に椅子を配置し、風船を受け渡し、往復したらゴールです。掴みにくい風船ですが練習のかいがあり、どのチー

ムも手際よく進んでいました。

これも初めての種目の、職員によるベンギンリレーは、足の間に大きい風船を挟み、障害物を通りながら、リレーしてゴールする競技です。各階応援を受けて職員は汗だくで、自分のチームの優勝を目指しがんばり大いに盛り上がりました。

優勝トロフィーは、村野課長よりデイケアに手渡され「四季の里大運動会」は終わりとなりました。

11月になり秋も深まってくると紅葉ドライブに出かける予定です。今年の紅葉は…と、皆さん楽しみにしています。

また、四季の里は色んな「秋」を満喫しています。先日「食欲の秋」という

医療法人 昭仁会 介護老人保健施設 四季の里

「敬老会」

9月8日(土)に敬老会を行いました。今回は「東陽こづち会様」にお越し頂き日本舞踊を披露して頂きました。

花笠音頭をはじめに、黒石よされ、おこさ節など、東陽こづち会様オリジナル曲を含め6曲を、披露して頂きました。華やかな舞と浴衣に皆さん魅了されました。



最後に、敬老会なので「100歳前後インタビュ」と題して各フロアより代表者を決めて頂きインタビュを行いました。皆さん緊張されながらも、元気はつらつと答えておられました。

元気に長生きできる秘訣はとの間に、96歳の方は、「おいしいお米を食べ、良く寝ること」100歳の方も「良く食べ、良く寝ること」との事でした。拍手喝采。楽しいひと時を過ごせました。

4Fケアワーカー 朝田 幸代



ことで、バイキングスタイルの昼食を皆で楽しみました。いつもと違う雰囲気にな皆さん食欲が刺激され、食べ過ぎた…とお話する方が殆どでした。

2Fケアワーカー 下妻 陽子



『旅のトラブルを楽しみに!』

医療法人昭仁会 介護老人保健施設 四季の里 支援相談員 前島 圭

バイク旅をしていると予期せぬ事態やトラブルに見舞われる事が度々あります。今回の旅は中でも最大のピンチでありましたが、途中で旅を切り上げようにも帰れない状況でありました。自身の恥をさらすようで少々気が重いのですが、それ以上に自分なりに気付きを得られ、皆様へ私の好きな旅の面白さや僥越ながら多少の教訓を伝えられるいい機会と思いい筆をとらせて戴きます。

今年のGWにバイクで(大阪よりフェリーを使って)鹿児島に旅に出ました。鹿児島での初日(フェリーで1泊するのの旅程では2日目)に、昼過ぎより志布志港から佐多岬に向かうべく大隈半島の東岸を気持ちよくバイクで疾走中、財布を落としたことに気付きました。それもカードを含む全財産を!!(おそらくライダースジャケットのポケットファスナーを半開きで運転中に徐々に開き、飛び出した模様)普段は別にお金をバック内に保管しているのですが、今回は不覚にもフェリー乗車時、貴重品を1つにまとめ



黒酢工場の壺畑

たままにし下船、すぐに走り出してしまったのです。さて、途中で紛失に気付きたりあえず行程を逆行するも財布は見つからない。地元警察に届けてからキャッシュカード関係を止め、ひと段落すると既に時間は夕暮れ時となりました。雨がシトシトと降り出し、そんな状況も手伝ってか私は今後の行く末を想い、途方にくれてしまいました。所持金は様々なバック類衣服のポケットに残っていたお金1500円ほど。(残金が財布以外に1500円位あったなんて!自分のお金の管理の“ずぼらさ”をこの時ほど誉めてあげたかったことはありません。)



霧島神宮

ポットはあるのでした。ただ食事については自身の命の糧、いかんともし難く“現金での購入”を覚悟したのですが、自分のケータイに電子マネー機能がついていることがわかり、(DOKU YUJ.にて月1万円限度でコンビニ他“ID”提携店にて利用が可。ガソリンスタンドで使えないのが惜しかった...)近隣の携帯電話代理店で手続きをして、ほぼ3食を携帯電話にてキャッシュレスでコンビニのおにぎりを食べることができたのです。(勿論、後日請求書が来ますが...)ちなみに1500円の内、1000円はバイク君のおまんま(ガソリン代)に消えました。何と贅沢な奴...



佐多岬開聞岳

の気まぐれでしょるか?一人の人間をどん底に突き落とし、最後に褒美を戴くとは!まさに『人間万事塞翁が馬』

にぎり位という修行僧のような禁欲生活(修行僧の方に失礼ですね)と500円を2回(1回3L強ちなみに愛車は23km/L位走る)というケチケチ給油で3日間を乗り切り、待ちに待った親からの“贈り物”(といっても後で当然に返済)が届いたのでした。



佐多岬南

『終わりをければ全てよし』『石の上にも三日』(それはちと違うか)遠回りではしたが、その後の旅程についておおよその目的を達することができ、初日の状況を払拭するような晴れやかな気分の旅を終えることが出来たのでした。(さて財布ですが、お陰様で地元の方、鹿児島警のご尽力で現金以外は手元に戻りました。)

最後にこの旅で『お金(現金)の大切さ』『ケータイ電話の有難さ』『リスク管理の重要性』あと『コンビニおにぎりの侮れない美味しさ、種類の豊富さ』を実感、再確認できました。代償も大きかったですがそれ以上に得られたものも多く、トラブルにあっても自身の見方・考え方を変えれば、いくらかでも興味が広がり楽しみに変えられるものだと気付かされた貴重な旅となりました。皆様もトラブルを心配して旅に出ないのは何とももったいない!積極的にトラブルを楽しむつもりで旅に行ってみるというのも一興ではないでしょうか。(もちろん自己責任にてお願いしますね。)